

生協会, 東京, 75pp. 6) 植木忠夫 (1964) 北アルプスの自然 (立山山系とその周辺地域の小哺乳類および有

尾両生類), 96, 富山大学学術調査団, 富山, 254pp. (1976年 5月22日受領)

石川県産のハタネズミ属の標本について (短報)

望 月 正 巳 (富山県立技術短期大学)

M. MOCHIZUKI: Specimens of vole (Microtinae) in Ishikawa prefecture

昭和51年2月17日, 石川県和倉市に於て開催された北陸病害虫研究会の席上で川瀬 英爾氏 (石川県農業試験場・企画室長) から, 昭和50年に白山山中で花井正光氏 (石川県石川郡吉野谷村中宮, 白山自然保護センター) が採集した一標本と七尾山中で採集された一標本の同定を依頼された。

同標本の調査研究結果を報告する。

標本個体の外・内形態は第1表に示すように, 2個体と

も亜成獣に近い発育途上の幼獣であった。白山山中の標本の体毛は赤味の少ない黒褐色で, その頭胴長は8.5cm, 尾長6.8cm, 後足長1.8cm, 耳長1.4cmの尾が長い雌幼獣であって, 口蓋部末端の構造はヤチ・スミス型で, 第1下臼歯前環の構造はヤチネズミ型を示していた。この白山山中の標本は明らかにヤチネズミ *Clethrionomys andersoni* であって, 尾の長いトウホクヤチネズミの雌¹⁾獣と思われた。

第1表 標本の外・内形態

採集地点	体毛の色	頭胴長 cm	尾 長 cm	後足長 cm	耳 長 cm	後足の 趾球数	後足最後端の趾球から		性 別	生殖器 の発育	口蓋部末 端の構造	第1下臼 歯前環の 構造
							後足後端ま での距離 mm	最前部趾球 までの距離 mm				
白山山中	赤味が少ない 黒褐色	8.5	6.8	1.8	1.4	6	7.5	6.5	雌	子宮発育 途上	ヤチ・ス ミス型	ヤチ型
七尾山中	赤味が強い 褐色	8.5	4.3	1.5	1.4	6	7.0	6.0	雄	こう丸発 育途上	ヤチ・ス ミス型	ヤチ型

七尾山中の標本の体毛は赤味の強い褐色で, その頭胴長は8.5cm, 尾長4.3cm, 後足長1.5cm, 耳長1.4cmの尾が短い雄²⁾獣であって, 口蓋部末端の構造はヤチ・スミス³⁾形で, 第1下臼歯前環の構造は前者と同型のヤチ型³⁾で, また後足最後端の趾球の位置についても前者と同様³⁾ヤチ型を示していた。この標本は, 一見して体毛の赤味が強いこと, 尾が短いことからスミスネズミ *Antelionomys* (Phaulomys) *smithii*^{1,2)} に類似するが, 発育途上の標本であることを考慮しながら分類学上の詳細な特徴を総合してみると明らかにヤチネズミ *Clethrionomys andersoni*¹⁾ の尾の短いニイガタヤチネズミの雄¹⁾幼獣と思われた。

以上, 白山山中, 七尾山中の標本について同定を試みたが夫々一標本しかも発育途上の幼獣であって, 単なる

一般外形からは同定困難なので, 内形態も含め総合的に検討を加えた。しかし, さらに同一場所の成獣を含めた多数の標本についての調査研究が望ましい。

引用文献

- 1) 黒田長礼・内田清之助・中村健児・川村智治郎 (1961) 原色動物大図鑑 I, 15~16, 北隆館, 東京, 346pp.
- 2) 鍋木外岐雄・三坂和英 (1954) 野鼠とその防除, 19~29, 日本学術振興会, 東京, 455pp.
- 3) ねずみ駆除対策協議会 (1954) ねずみ駆除教程, 8~9, 16~18, 日本公衆衛生協会, 東京, 75pp.

(1976年 5月22日受領)